

祝 100号記念版

京葉地区だより

青少年育成京葉地区委員会 委員長 鈴木 明 事務局 江戸川区鹿骨 1-54-2 江戸川区鹿骨事務所内 TEL 3678-6113



文化共有部健全育成課
課長
森本 磨岐子

京葉地区だより第100号の発行を、心からお祝い申し上げます。

貴紙は、昭和53年7月に第1号が発行されて以来、地域の絆を強くするため、大きな役割を果たされてきました。鈴木委員長はじめ、これまでご尽力された皆様に、改めて敬意を表します。

これからも、青少年育成京葉地区委員会のますますのご発展と皆様のご活躍を、心よりお祈り申し上げます。



京葉地区委員会
委員長
鈴木 明

青少年育成京葉地区委員会は昭和53年に初代松丸委員長を中心に発足しました。時代が変わりゆく中、子ども達の健全育成にチーム京葉地区を合言葉に鋭意努力し、町会・自治会と正に一体となつて、大きな成果をあげています。特に広報は地域へのパイプ役や、関心を高める良き環境づくりに大きな役割を果たして参りました。

終わりに広報部奥村部長及び広報部員の皆様並びに地域サービス係職員の皆様に心から感謝と敬意を表します。今後京葉地区委員会へのご協力よろしくお願いたします。



生活振興部鹿骨事務所
所長
栗間 大介

京葉地区だより第100号の発行、誠にありがとうございます。

広報紙は京葉地区委員会の活動を広く伝えるものである一方、その歴史を残すという役割も担われております。過去の紙面を改めて拝見し、その大切さを深く感じました。

鈴木委員長、奥村広報部長をはじめ歴代部員の皆様のご尽力に深く御礼を申し上げます。



京葉地区委員会
歴代部長代表
太田 忠良

記念すべき第100号を発行する事ができました。コロナ禍で2年間子ども達の行事がすべて中止となり、原稿がなく紙面作りに苦労しました。本来なら先輩部長経験者に原稿依頼する所、現役の私が第100号に寄与できました事に感謝いたします。今後青少年の健全育成に努めてまいります。



京葉地区委員会
広報部長
奥村 晃

昭和53年から続く本紙が44年の歳月を経て第100号を迎えました。創刊当時小学生だった皆さんが様々な人生を歩み50代となっているかと思うと感慨深いものがあります。コロナ禍で紙面づくりがままならない状況が続きますが、引き続きより良い紙面を目指し、また次の世代に引き継いでいきたいと思います。

お祝いパネル写真



前列右下より

篠崎七丁目町会

会長 鈴木 忠男

春江町団地自治会

会長 鈴木 明

北篠崎二丁目自治会

会長 北村 清

篠崎仲町自治会

副会長 小泉 和久

上篠崎自治会

会長 村瀬 光一

新堀町会

会長 八武崎 秀雄

篠崎本郷町会

会長 松村 明

谷河内北町会

副会長 相良 定雄

新 学校長・ 副校長 紹介



篠崎小学校
校長 佐藤 美緒

篠崎小学校に着任しました。佐藤美緒でございます。船堀小学校からの転任です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校は、来年度に新校舎となり、140周年を迎えます。地域の歴史や伝統を学び、地域よさを感じて、地域を愛する子どもを育ててまいります。



篠崎第二小学校
校長 高橋 宏幸

隣の鹿骨東小学校副校長より昇任でまいりました。歴史と自然と人情あふれる地区に残ることができ本当に嬉しく思っております。子どもたちも元気で素直で優しい地区、保護者、子どもたちの期待に応えられるよう尽力してまいります。



新堀小学校
副校長 地主 貴子

江戸川区立第二松江小学校から、四月に着任いたしました。明るく挨拶してくれる子どもたちに、日々、元気をもらっています。地域、保護者の皆様とお会いするたびにずっとこのつながりを大切にしていきたいという思いを強くしています。よろしくお願いたします。



春江中学校
副校長 鈴木 巧

本年度より江戸川区立小松川第一中学校より着任いたしました。保護者や地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、生徒が笑顔に溢れ、成長できる学校を目指してすべての教職員の力を一つにして邁進していきますので、どうぞよろしくお願いたします。

篠崎本郷の獅子もみ行事

本郷獅子もみ会 副会長 三島 隆司

7月17日、篠崎本郷の獅子もみ行事が開催されました。獅子もみの起源は不明ですが、厄除けに効験があるという天王信仰に由来すると考えられます。その昔、悪病が流行したため篠崎本郷地域にあった須賀神社(御神体は素戔鳴尊)スサノオノミコト(天王様)に祈願し、獅子頭の雄・雌で本郷の村中を一軒一軒ていねいにもみ回り、天王様の片口(一方だけにつぎ口



のあるお銚子)に御神酒をなみなみとついで頂きました。こうして村中から災いを取り除いたと伝えられています。

安政五年(一八五八年)全国的なコレラ大流行の時にも獅子もみは行われており、篠崎本郷の人々が罹患を免れたのも獅子もみのご利益だったと語られています。この事からコロナ禍により、二年の間中止せざるを得なかった行事を、感染対策に取り組み、訪問するご家庭を申し込み制として実施いたしました。感染者急増の中、例年の約半数215軒の申し込みをいただけました。コロナ禍でこれだけ多くの方々にご協力いただけた事、心より感謝しております。これから先人の意志を引継ぎ、挨拶の出来る街づくり・地域住民との交流の場となるように、会員一同一生懸命続けてまいります。

広報部員紹介



前列右下より

- 笠井(青少年委員)
- 鈴木(委員長)
- 奥村(篠崎仲町)
- 塚原(篠崎本郷)
- 太田(上篠崎)
- 小畑(北篠崎)
- 迫(新堀)
- 鉾立(春江町)
- 黒柳(上篠崎)
- 他
- 餅田(新堀)
- 馬場(谷河内北)

これからの予定

◆令和4年

11月20日

秋の一斉美化運動

・新型コロナウイルス感染拡大防止の為一斉での実施は中止となりました。

12月3日

鹿骨地区

「安全・安心まちづくり運動」

◆令和5年

1月15日

第41回京葉地区

善行少年少女表彰式

2月19日

ふれあいスケート

3月11・12日

篠崎サークルまつり

3月12日

第44回京葉地区

ドッジボール大会

